

所 属	県土整備部技術検査課		
係 名	建設技術係・建設人材育成係	内線	4567・4563

## 建設業を支える人材の育成・確保

1 事業費 36,114 (前年度 44,037)

【財源内訳】 【主な使途】

国庫	8,903	補助金	17,865
一般財源	27,211	委託料	15,373

### 2 背景・事業目的

建設業界では、少子化に加え、若年層の高い離職率、さらには就労者の高齢化による大量の離職が見込まれることから、今後の深刻な担い手不足が懸念されている。

こうしたことから、建設業の担い手の育成・確保を図るため、産学官が連携して労働環境の改善、ICTの活用による建設業の魅力向上及び建設現場の生産性向上などの取組みを推進する。

### 3 事業概要

#### (1) ぎふ建設人材育成リーディング企業認定制度の運用 (7,442 千円)

- 労働環境の改善や人材の育成等に積極的に取り組む企業を認定し、建設業界のイメージアップを図る。

**新**・ SNS への広告掲載など効果的に周知できる媒体を活用し、認定企業の認知度向上を図る。

**新**・ 認定を受けていない企業に対し、認定企業の優秀な取組事例の紹介等を行うセミナーを開催し、労働環境の改善や人材の育成等を支援する。

#### (2) 建設業の魅力発信、入職支援 (10,807 千円)

- 建設業の魅力や役割等を紹介する中学生向け出前授業、新聞等への特集記事の掲載、PR冊子の配布等を行う。
- 県内最大級の合同企業展（オール岐阜・企業フェス）を開催し、県内企業と県内外の若い世代との交流機会を提供する。
- 県内の工業高校等に、資格取得のためのテキスト購入費を支援する。

#### (3) 建設現場の環境改善・生産性向上のためのモデル工事の実施

若手や女性技術者の人材確保に向け、「週休2日制モデル工事」、「建設現場環境改善モデル工事」、「ICTを活用したモデル工事」、「建設キャリアアップシステム活用モデル工事」を引き続き推進する。

#### (4) 建設ICT人材育成センターによる研修、魅力発信 (17,865 千円)

建設ICT人材育成センターが実施する技術力向上研修や初心者研修、ICTの担い手育成研修、建設業の魅力発信等の事業を支援し、産学官連携による人材の育成・確保を推進する。

(款) 8 土木費	(項) 1 土木管理費	(目) (3) 建設業指導監督費
(明細書事業名) ○建設業許可事務費	建設産業構造改善推進事業費	

所 属	県土整備部技術検査課・道路維持課・河川課・砂防課		
係 名	建設技術係・建設情報係・維持管理係・維持係・砂防保全係・災害対策係	内線	4567・4570・4624・4633・4653・4657

## 建設分野におけるDXの推進

1 事業費	164,295 (前年度 158,769)		
	【財源内訳】		
	【主な用途】		
使用料	10,200	委託料	143,410
諸収入	75,437		
一般財源	78,658		

### 2 背景・事業目的

建設業界の深刻な担い手不足が懸念される一方で、高度経済成長期に集中的に整備された道路・河川・砂防施設といった社会資本は、急速に老朽化が進んでいる。また、気候変動により自然災害が激甚化・頻発化する中、災害からの早期復旧が喫緊の課題となっている。

そのため、ICTを活用した生産性の向上、効率的かつ効果的な整備や維持管理を図るとともに、迅速な災害復旧を推進する。

### 3 事業概要

#### (1) 建設ICTの普及促進 [再掲]

「ICTを活用したモデル工事」を引き続き推進し、ドローンによる3次元測量や3次元データの利用等、ICTを活用した工事の普及を進め、建設現場の生産性、安全性向上を図る。

#### (2) 新技術の活用 (50,200 千円)

橋りょうや河川・砂防施設の点検、災害時の迅速な被災状況の把握にドローン等を活用するほか、水中の地形まで測量できるグリーンレーザを用いた3次元測量により河川の土砂堆積状況を把握することで、維持管理業務等の効率化・高度化を図る。

#### (3) 建設ICT人材育成センターによる研修 (17,865 千円) [再掲]

建設ICT人材育成センターが実施するドローン操作研修や3次元測量研修等の事業を支援し、ICT導入に必要な知識・技術の普及を図る。

#### (4) 業務効率化のためのシステム活用 (96,230 千円)

設計積算システムに物価上昇に対応した積算機能を追加するとともに、施設台帳管理システムを他システムと連携させることにより、業務の効率化を図る。

(款) 8 土木費	(項) 1 土木管理費	(目) (1) 土木総務費
(明細書事業名)	○ 査察指導費	
	査察指導費	他

所 属	県土整備部河川課・砂防課		
係 名	改良係・砂防保全係	内線	4637・4653

## 水害や土砂災害から命と暮らしを守る「流域治水」の推進

1 事業費	13,411,463 (前年度 14,025,811)		
	【財源内訳】	【主な用途】	
	国庫	3,536,381	工事請負費 4,991,483
	県債	6,907,200	委託料 3,199,167
	繰入金	30,000	直轄負担金 3,490,000
	負担金	240,934	用地補償費 444,650
	使用料	1,800,167	
	一般財源	896,781	

### 2 背景・事業目的

気候変動により激甚化・頻発化する水害・土砂災害等に対しては、流域のあらゆる関係者の協働により、流域全体で水災害対策を行う「流域治水」を進める必要がある。

そのため、県民の命と暮らしを守る河川改修や砂防関係施設の整備等を推進し、県土の強靱化を図る。

### 3 事業概要

#### (1) 水害対策 (10,200,759 千円)

令和3年8月の大雨や令和2年7月豪雨など水害が激甚化・頻発化する中で、河川改修や排水機場・ダム等の河川管理施設の長寿命化対策を計画的・重点的に実施する。

##### 【河川改修】

境川（岐阜市他）、大谷川（大垣市）、津保川（関市）ほか

##### 【長寿命化対策】

阿多岐ダム（郡上市）

#### (2) 土砂災害対策 (3,210,704 千円)

避難所、要配慮者利用施設や防災拠点を保全する箇所等で砂防関係施設を計画的・重点的に整備する。

##### 【砂防事業（土石流対策）】

志津北谷（海津市）、曲坂川（東白川村）、和田洞谷（下呂市）ほか

##### 【擁壁等（がけ崩れ対策）】

岐荘ヶ丘（岐阜市）、乙原（揖斐川町）、伊深町（美濃加茂市）ほか

(款) 8 土木費 (項) 3 河川費 (目) (3) 河川改良費 (明細書事業名) ○公共事業 広域河川改修費 他
---

所 属	県土整備部道路維持課・河川課・砂防課		
係 名	市町村道係・安全防災係・企画環境係・企画係	内線	4614・4624・4637・4653

## 自然災害に備える避難対策や防災対策の推進

1 事業費 817,142 (前年度 795,032)

【財源内訳】

国庫 152,250  
 県債 9,745  
 使用料 287,370  
 一般財源 367,777

【主な使途】

工事請負費 58,000  
 委託料 676,059

### 2 背景・事業目的

近年、大型化する台風や局地的・集中的な豪雨等による大規模な水害が全国的に頻発している。

そのため、県民の命を守るための確実な避難・防災活動など、被害軽減に向けた対策を推進する。

### 3 事業概要

(1) 避難対策のための情報提供 (779,827 千円)

- ・ 「岐阜県川の防災情報」や「ぎふ土砂災害警戒情報ポータル」のウェブサイトにより、県民に適時的確な避難のための情報を発信する。
- ・ 土砂災害警戒区域の指定と見直しを進めるとともに、ホームページでの公表や区域を示した看板の設置等により住民への周知を行う。

(2) 道路冠水危険箇所の通行規制 (20,000 千円)

県管理道路において、水位上昇により道路冠水の恐れがある河川に水位計等を設置し、豪雨時等に速やかに通行規制する体制を整える。

(3) 道の駅の防災機能の強化 (14,000 千円)

防災拠点等に位置付けられている道の駅を対象に、停電や断水時でもトイレが利用できるよう、汲み取り処理方式のマンホールトイレ等の整備を推進する。

(4) 水防活動の支援 (1,315 千円)

水害の防止・軽減に向け、水防管理団体へ資材を提供する。

**新**(5) 流域治水に関するシンポジウムの開催 (2,000 千円)

流域のあらゆる関係者が協働して水災害対策を行う「流域治水」の理解を深めるため、シンポジウムを開催する。

(款) 8 土木費	(項) 3 河川費	(目) (1) 河川総務費
(明細書事業名) ○河川諸費	河川諸費	他

所 属	県土整備部河川課		
係 名	企画環境係・開発係	内線	4637・4641

## 暮らしの安全・安心につながるダム建設事業の推進

1 事業費	4,549,080 (前年度 4,546,499)		
	【財源内訳】	【主な用途】	
	国庫	1,925,431	工事請負費 3,067,000
	県債	2,185,600	委託料 600,000
	負担金	195,056	直轄負担金 811,707
	一般財源	242,993	

### 2 背景・事業目的

河川の氾濫による水害を回避・軽減するとともに、渇水時における既得水の安定取水や水力発電による再生可能エネルギーの活用のため、木曽川上流の新丸山ダムや長良川上流の内ヶ谷ダムの建設を推進する。

### 3 事業概要

(1) 国土交通省：新丸山ダム建設事業（八百津町・御嵩町）  
(811,707千円)

本体工事、付替道路の整備等を実施する。

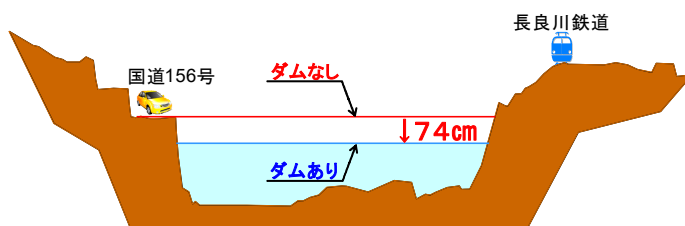
(2) 県：内ヶ谷ダム建設事業（郡上市）(3,737,373千円)

ダム本体のコンクリート打設工事を実施する。



内ヶ谷ダム完成予想図

※ダム建設により、100年に一度程度発生する大規模な洪水に対し、長良川の亀尾島川合流直後（郡上市）で約74cmの水位低減効果が見込まれる。



内ヶ谷ダムの洪水調節のイメージ図

(款) 8 土木費 (項) 3 河川費 (目) (4) ダム建設費  
(明細書事業名) ○ 公共事業  
内ヶ谷ダム建設費 他

所 属	県土整備部道路建設課・道路維持課・砂防課		
係 名	改良係・市町村道係・安全防災係・維持管理係・路政係 ・企画係・砂防保全係・災害対策係	内線	4585・4614・4624・4619・4653・4657

## 早期復旧を可能とする対策の推進

1 事業費	20,224,644 (前年度 21,247,178)
	【財源内訳】
	国庫 2,599,437
	県債 15,675,600
	負担金 1,115,552
	使用料 20,000
	一般財源 814,055
	【主な用途】
	工事請負費 4,445,653
	委託料 1,418,161
	負担金 12,500,000
	(直轄道路事業負担金)

### 2 背景・事業目的

近い将来発生が懸念される南海トラフ地震や、頻発する豪雨災害時には、被災地での迅速な災害救援活動が求められる。

そのため、緊急輸送道路等の整備を推進するとともに、緊急時における道路機能の確保を目的とした訓練を実施するなど、ハード・ソフト両面から防災体制の強化を図る。

### 3 事業概要

#### (1) 災害に強い道路整備の推進(20,142,528千円)

災害時において、孤立防止や迂回路としても機能する緊急輸送道路等の拡幅やバイパス整備等を実施する。

[道路拡幅等] (国)303号 西横山バイパス(揖斐川町)ほか

[斜面对策] (国)256号 入間工区(郡上市)ほか

[橋りょう耐震] (国)248号 国長橋(多治見市)

#### (2) 道路啓開訓練の実施(2,310千円)

災害時に道路上のガレキや放置車両等の障害物を迅速に取り除き、緊急車両の通行ルートを確認する道路啓開の訓練を、国や災害時応援協定を締結している建設業協会等と連携して実施する。

#### (3) 官民連携による危険木の解消(20,000千円)

災害時に県管理道路の障害となり得る民有地内樹木について、所有者による事前伐採が行われるよう、市町村と連携し、伐採経費の一部を助成する。

[対象路線] 緊急輸送道路、孤立の恐れがある集落へ通じる道路

[負担割合] 県(1/2)、市町村・所有者(1/2)

#### (4) 災害時応急対策用資機材備蓄拠点の追加整備(59,806千円)

既設の備蓄拠点から遠方となる地域に、使用頻度の高い資機材を備蓄するサテライト拠点を追加整備し、より迅速な応急対策を実現する。

#### (5) 災害復旧の迅速化に向けた検討

県関係課・土木事務所、建設業協会で構成する検討会において、災害復旧の迅速化を図る方策(岐阜モデル)を継続的に検討する。

(款)8土木費 (項)2道路橋りょう費 (目)(3)道路橋りょう改築費  
(明細書事業名)○公共事業 道路新設改良費 他

所 属	県土整備部道路維持課		
係 名	維持管理係	内線	4624

## 除雪体制の強化による冬期交通の安全確保

1 事業費	420,000	(前年度)	390,000	
	<b>【財源内訳】</b>		<b>【主な使途】</b>	
	国庫	280,000	工事請負費	183,000
	県債	126,000	委託料	24,000
	一般財源	14,000	備品購入費	213,000

### 2 背景・事業目的

県管理道路の除雪作業は、オペレーターの高齢化により対応できる人員が減っていることや、除雪機械の購入・維持にかかる業者の負担が大きいことなどの問題を抱えており、今後の除雪体制の維持が喫緊の課題となっている。

そのため、岐阜県道路雪情報システムを活用し、除雪業務の効率化を図るとともに、引き続き県有除雪機械を増強し、地元建設業者へ貸与するなど、除雪体制の強化を図り、冬期交通における安全・安心を確保する。

### 3 事業概要

除雪機械（除雪ドーザ、除雪トラック等）を購入するとともに、配備に必要な除雪基地を整備する。



除雪の状況

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 (目) (3) 道路橋りょう改築費  
 (明細書事業名) ○ 公共事業  
 積寒対策道路事業費

所 属	県土整備部道路建設課・道路維持課・河川課・砂防課		
係 名	改良係・維持管理係・維持係・砂防保全係	内線	4585・4624・4633・4653

## 道路・河川・砂防施設の計画的な維持管理の推進

1 事業費	13,723,112 (前年度 13,364,558)	
	【財源内訳】	【主な用途】
	国庫 2,647,171	工事請負費 3,084,492
	県債 3,250,368	委託料 7,940,115
	負担金 32,414	
	使用料 452,471	
	諸収入 23	
	一般財源 7,340,665	

### 2 背景・事業目的

県が管理する道路・河川・砂防施設は、洪水や土砂崩れ、地震などの災害から人命を守る重要な施設である。

そのため、これらが災害時にも確実に機能を発揮するよう、計画的・効率的・戦略的な維持管理を実施し、施設機能の長期保全を図る。

### 3 事業概要

#### (1) 道路施設 (12,709,298 千円)

- 【舗装補修】 (国) 360号 桑野工区(飛騨市)  
(主) 江南関線 蘇原中央町工区(各務原市)  
(一) 曾井中島美江寺大垣線 重里工区(瑞穂市) ほか
- 【橋りょう補修】 (国) 158号 牧橋(高山市)  
(主) 大垣一宮線 羽島大橋(安八町～羽島市) ほか
- 【橋りょう更新】 (国) 156号 尾神橋(高山市～白川村)  
(主) 川島三輪線 藍川橋(岐阜市)
- 【トンネル補修】 (国) 365号 上石津第一トンネル(大垣市)
- 【施設点検】 (国) 248号 明和高架橋(多治見市)  
(一) 曾井中島美江寺大垣線 鷺田橋(瑞穂市) ほか

#### (2) 河川・砂防施設 (1,013,814 千円)

【河川管理施設】 長寿命化対策・・・阿多岐ダム(郡上市)

【砂防施設】 長寿命化対策・・・<sup>ゆきひらたに</sup>行平谷(養老町)、  
竹原川(下呂市) ほか

(款) 8土木費 (項) 2道路橋りょう費 (目) (2)道路橋りょう維持費 (明細書事業名) ○公共事業 橋りょう補修費 他
--



所 属	県土整備部道路維持課		
係 名	安全防災係	内線	4624

## 安全・安心な通学路等の整備の推進

1 事業費 1,200,000 (前年度 1,175,190)

【財源内訳】

国庫 379,625  
 県債 357,100  
 一般財源 463,275

【主な使途】

工事請負費 619,880  
 委託料 278,620

### 2 背景・事業目的

通学路における交通安全確保のため、道路管理者、交通管理者及び教育委員会等の関係者が連携しながら、「通学路交通安全プログラム」に基づき定期的な合同点検を実施し、必要な安全対策を推進する。

さらに、令和3年6月の千葉県八街市の交通死亡事故を受けた緊急合同点検に基づき対策が必要とされた箇所、過去に死亡事故が発生した箇所及び重大事故の危険性が高い箇所等についても、安全で安心な通行環境の確保を図る。

### 3 事業概要

通学路等の歩道整備、交差点改良、防護柵・道路標識の整備等を推進する。

(国) 417号(池田町六之井)

(一) 富加美濃線(関市志津野)

(一) 谷高山線(飛騨市古川町下野)ほか



通学路危険箇所の状況

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 (目) (4) 交通安全対策費  
 (明細書事業名) ○公共事業  
 交通安全施設等整備事業費 他

所 属	県土整備部技術検査課・河川課		
係 名	建設技術係・企画環境係	内線	4567・4637

## 清流を次代へつなぐ川づくりの推進

＜清流の国ぎふ森林・環境基金＞

1 事業費	76,292	(前年度	75,795)	
	<b>【財源内訳】</b>		<b>【主な用途】</b>	
	国庫	5,000	工事請負費	40,500
	県債	4,500	委託料	30,395
	繰入金	45,000		
	一般財源	21,792		

### 2 背景・事業目的

地域の歴史や伝統文化、経済と深くつながる「清流長良川の鮎」が世界農業遺産に認定されるなど、「清流」は、本県が世界に誇る資源であると同時に、県のアイデンティティともいえる存在となっている。

これまで守り引き継がれてきた「清流」を次代へつなぐため、自然と共生した川づくりと人づくりを一体で展開する。

### 3 事業概要

#### (1) 清流を育む人づくり(21,292千円)

- ・ 小中学校の総合学習における、川を題材とした学習を支援する。
- ・ 岐阜県自然工法管理士養成のための講習会を開催する。

#### (2) 水生生物の生息環境の確保(45,000千円)

＜清流の国ぎふ森林・環境基金＞

- ・ フィッシュウェイ・サポーター(令和4年12月末現在、173名)を地域の方などから募集、委嘱し、協働で県管理河川や砂防施設に設置された魚道の点検等を実施する。
- ・ 地元住民や関係機関と連携し、里川から里山まで水生生物が往来できるよう水みちの連続性を確保する取組みを継続する。

#### (3) 水辺空間を活かした魅力あるまちづくり(10,000千円)

- ・ 国の「かわまちづくり支援制度」を活用して千旦林川(中津川市)に川と親しめるような護岸を整備する。

(款) 8 土木費 (項) 3 河川費 (目) (1) 河川総務費  
(明細書事業名) ○河川管理費  
ぎふの清流保全事業費 他

所 属	県土整備部道路建設課		
係 名	改良係・高速道路係	内線	4585・4587

## 東海環状自動車道西回り区間及び I C アクセス道路の整備

1 事業費 10,114,781 (前年度 9,857,874)

【財源内訳】

国庫 424,500  
 県債 9,491,900  
 負担金 43,642  
 一般財源 154,739

【主な用途】

工事請負費 658,302  
 委託料 318,000  
 負担金 8,903,334  
 (直轄道路事業負担金)

### 2 背景・事業目的

東海環状自動車道は、中京圏の広域ネットワークを形成する高規格道路であり、西回り区間の整備により、国際競争力の強化、防災・減災、国土強靱化、企業立地、広域観光などへの効果が期待されており、県では、東海環状自動車道の整備を最重点プロジェクトの一つとして、早期全線開通に取り組んでいる。

そのため、国に対して事業推進のための重点的な予算配分等を要望するとともに、山県 I C～大野神戸 I C の開通時期を見据えたアクセス道路の整備を推進していく。

### 3 事業概要

(1) [国直轄事業]東海環状自動車道西回り区間(8,903,334 千円)

早期全線開通に向け、引き続き、国による整備を促進する。

(2) [県事業]アクセス道路整備(1,211,447 千円)

【継続事業箇所】

(国) 256号 高富バイパス

(山県市)

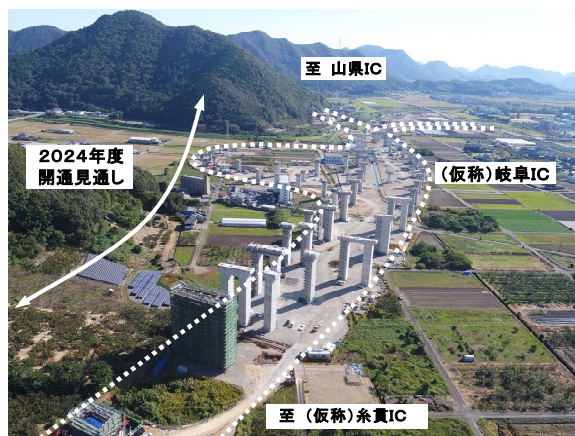
(主) 岐阜美山線 折立 I 期工区

(岐阜市)

(一) 屋井黒野線 見延・下西郷工区

(本巣市～岐阜市)

ほか



(仮称) 岐阜 I C 周辺状況

(款) 8 土木費 (項) 2 道路橋りょう費 (目) (5) 直轄事業負担金  
 (明細書事業名) ○ 公共事業  
 直轄道路事業負担金 他

所 属	県土整備部道路建設課		
係 名	改良係・企画係	内線	4585・4587

## 地域と地域をつなぐ幹線道路等の整備

1 事業費 23,528,447（前年度 24,078,867）

【財源内訳】

国庫 3,227,438  
 県債 17,523,300  
 負担金 1,353,051  
 一般財源 1,424,658

【主な用途】

工事請負費 6,112,960  
 委託料 2,051,277  
 負担金 12,500,000  
 （直轄道路事業負担金）

### 2 背景・事業目的

地域と地域をつなぐ道路は、災害時における孤立集落の解消や、救援物資の輸送に有効に機能するほか、観光交流や産業振興として大変重要な役割を果たすことから、幹線道路を中心とした道路ネットワークの整備を推進する。

### 3 事業概要

[直轄国道]

中部縦貫自動車道 高山清見道路（高山市）  
 （国）19号 瑞浪恵那道路（瑞浪市～恵那市）ほか

[県管理道]

濃飛横断自動車道 中津川工区（中津川市）  
 （国）248号 関バイパス工区（関市）  
 （一）扶桑各務原線 新愛岐道路（各務原市）  
 （一）養老垂井線 橋爪大橋工区（養老町）  
 （一）大垣江南線 長良川新橋工区（安八町～羽島市）

ほか



(一)扶桑各務原線 新愛岐道路 工事状況

(款) 8 土木費	(項) 2 道路橋りょう費	(目) (3) 道路橋りょう改築費
(明細書事業名) ○公共事業	道路新設改良費	他